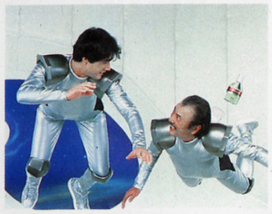
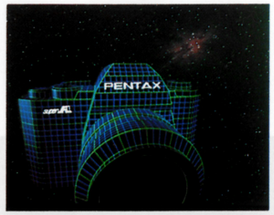
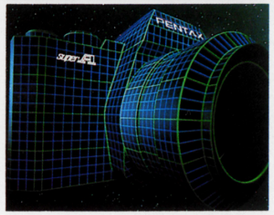


①資生堂・ブラバス・地球人
●草刈、渡辺両氏の吊りはもちろん、ヒゲソリや商品も操演する。

②サッポロ・シュトラス　E・T
●光を放つ宇宙船や映画「E・T」のパロディキャラクターを作る。





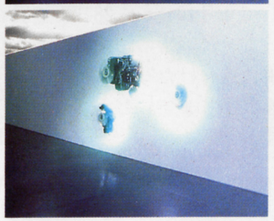
③旭光学・ペンタックス　スーパーA
●CG風な感覚を出すため、巨大なペンタックスAの造り物を作る。

高城忍

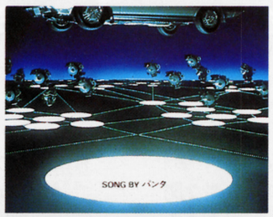
GIVS

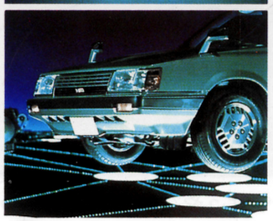
**特撮CMの本当の主役は、キャラクターやタレントではない。
その特殊情況を、実際に作り出すスペシャル・エフェクトのプロだ。
23歳でスペシャル・エフェクト・ショップ＝ギブスを作り、8年目。
30歳になったばかりのギブスの主宰者、高城忍氏が
今回CRAFTSMANSHIPの主役である。**

CRAFTSMANSHIP 2

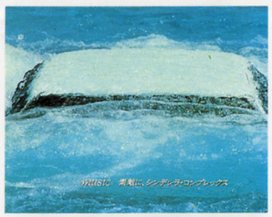


④トヨタ・レーザーエンジン　時代の壁
●オプチカルとの組み合わせで、エンジンが白い壁を通り抜けていく。この操演も担当した。



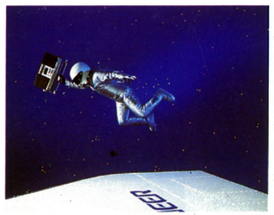


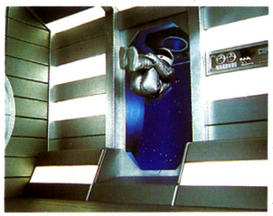
⑤トヨタ・ビスタ&カムリ
●トヨタ・ビスタと20台近いエンジンを吊り上げる。操演としては最大級の仕事となった作品。

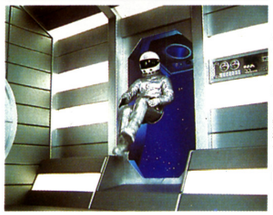


⑥トヨタ・ニューカローラ新登場
●東宝の特設プールから、トヨタ・ニューカローラが登場。大胆なビジュアルを大仕掛けで見せた。

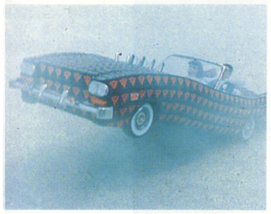
◆P106とP107で紹介した作品のスタッフは
P111の下段に掲載しています。





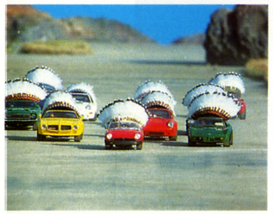


⑨パイオニア・サウンドトレック
●宇宙遊泳する飛行士が、回転しながらステーションに着地。ヘルメットやラジカセが飛行士といっしょに踊り出す操演も担当した。



⑦ナショナル・カレックバッテリー
●実物大のバッテリーカーと言うなりにしなるミニチュア等を作った。

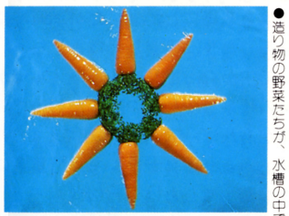
⑧藤澤樽脇・和服のボディガード
●全長60cmほどのミニチュア・ロールスロイスと人形たちを作った。

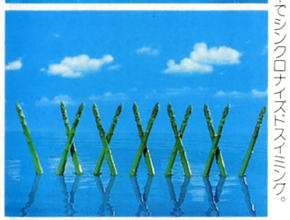


⑩ナショナル・パーソナル無線　エア・ピット
●インディアンの羽をつけたミニチュアカーが荒野を走り抜ける。

⑪住友不動産
●中央の空地はゴム製で、呼吸するように上下にふくらんでみせる。

⑭黄桜マイルド・透明人間
●柴田恭平が驚いている透明人間のTシャツは操演によって動く。





⑫日清サラダレ・シンクロナイズドスイミング
●造り物の野菜たちが、水槽の中でシンクロナイズドスイミング。

⑬サンスター・アクアフレッシュ
●長い歯ブラシの造り物と縛り歯磨きを一定に押し出す装置を作る。

◉高城忍氏（ギブスの事務所前で）。

台湾に映画の仕事でまる1年間行ってて これじゃいけない，会社を作ろうと思ったんです

僕は東京生まれの，東京育ちです。普通の少年だったけど，高校2年の夏に，円谷プロダクションにアルバイトに行って，それからずっと，この仕事をしてるんですよ。だから，出身は，円谷ってことになるでしょうか。

アルバイトに行ったきっかけは，中嶋（徹郎＝1982年制作のソニーF11クレヨンの美術等を担当。現在は，ビデオ・ショップを経営）っていうのが僕の友達の家を借りていましてね。そこで知り合って，紹介してもらったってことなんです。その時点で彼はバリバリのプロで，のちに，今の会社（GIVS）を設立するときのメンバーにもなってくれた人なんです。

円谷に入ったといってもアルバイトですからね，初めは命令されてピアノ線を運んだり，ガバチョ（ガムテープ）を持っていったり，操演助手の仕事です。とにかく言われることをやっているという，そんな仕事内容でした。毎日，行くんですから。それも朝から夜中まで(笑)。もう地獄でした。

円谷での仕事やノウハウが，今の僕の仕事の基礎になっているわけですが，そう難しいことじゃないんです。台本があって，コンテがあるでしょう。こういう風に見せたいときは，どうすればいいかっていうことですからね。どうしてこうした方がいいのか，どうしてこうするのかって疑問を持っていれば分かることなんです。

◉円谷プロをやめてフリーになる

円谷には，2年間いました。やめたときは，ちょうど「帰ってきたウルトラマン」をやっている頃で，一つのブーム期だったから，似たような仕事は，他でもいろいろありました。円谷を紹介してくれた中嶋が，その時はPプロというプロダクションにいて，「スペクトルマン」とか「快傑ライオン丸」なんかを担当してまして，僕はフリーになって，その作品を手伝いました。

そちらに行くと，若干エラくなれましたから(笑)。もちろん，初めは助手ですけどね(笑)。それから，3年，「スペクトルマン」「快傑ライオン丸」「タイガーセブン」「電人ザボーガー」と1年ずつぐらいやって，操演技師になったんです。

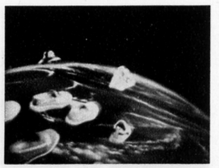
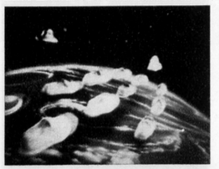
火薬や，模型，操演なんかが主な仕事でした。技術面では円谷時代のノウハウを基礎にしてましたが，同時に自分で新しい方法を開拓したり，研究していました。

その時期は，フリーですから，TVの仕事のノルマが終われば自由で，CMの仕事も少しずつですが始めていたんです。時間に余裕があれば，イベントに出てくるウルトラマンの造り物とか，あまり予算がなくて専門業者に依頼できないような仕事が主でしたけどね(笑)。

4年ほどPプロの仕事をやったあと，台湾で映画の仕事があって，僕は1年間そちらに行くことになるんです。あちらものの時代劇なんですが……。

この仕事は，日本のこの業界じゃ考えられないんだけど，毎日5時になると終わっちゃうんですよ。夜になると，お金があれば遊びに行っちゃう(笑)んだけど，これがないと何にもすることがないんですね(笑)。そうするとホテルで，考えるしかない。人生や将来を……(笑)。

フリーでやっていてもしょうがないし，だいたい外国に1年も行ってたら，帰ってきて仕事がなくなっちゃいますから……。やはり，組織にして，どこで仕事をしていても連絡が取れて，不安のないようにしたいと思いはじめたんです。「蒲田行進曲」の美術デザイナーを担当になった高橋章さんなんかにも相談して会社にしようと思ったんです。

◉日産ローレル・スピリット＝美女を乗せたメリーゴーランドは吊りによって空中に浮上しながら回転していく。企画制作社＝スタンダード通信社＋日本天然色映画　企画＝今井透・杉山寿夫　Pr＝島田源太郎・丸山滋　演出＝新井知之　撮影＝高橋宏之　照明＝小林紀佳　美術＝大竹正行　特殊技術＝高城忍

◉日本ゴム　アサヒ靴祭り　スニーカーシャトル＝造り物のスニーカーが発進。宇宙では複数のスニーカーが弧を描いて飛び去っていく。企画制作社＝電通＋三船プロダクション　Pr＝小川健治　演出＝一色弦子　撮影＝森野岩雄　照明＝吉田一夫

撮影日の前日なんて，生きた心地がしないですよ テスト繰り返したり，徹夜で作ったりで

◉スペシャル・エフェクト会社ギブスを作る

会社にしよう，と決心して，次は名前ですよね。その時，ちょうどケンカして肋骨を折っちゃってまして(笑)ギブスが欲しいなアと……。と，言うのは，ギブスって骨と骨をくっつけるように石膏でかためるものですが，肋骨の場合は，胸をかためると呼吸ができなくなるんでギブスができないんです。息するだけで痛いんで，ギブスが欲しい，と(笑)。で，会社の名前もギブスにしたんです。でも，まちがってまして(笑)。ギブスじゃなくてギプスなんです。GIVSが社名ですけど，本当はスペル，GIPS(独)ですから……(笑)。

まあ，ギブスじゃなくても，何でも良かったんですがスペシャル・エフェクトの仕事だし，短くて，聞いて印象に残るものにしたいとは思っていたんです。それに，僕ら，あんまり綺麗（な仕事）じゃないですからね。泥臭い名前にしたかったんです。綺麗な名前で，名前負けしないようにしたかった，それだけです(笑)。

設立時には，「怪獣ブーム（第2次）」も終りになってましたから。円谷もダメになっていたし，そんな関係で，急に飯が喰えなくなる特殊効果マンがずい分出ました。あの頃はねェ……。

それでも，僕の方は，会社は作ったけれどもCMプロダクションに売り込みに行くとか，そんなセールスは全くしなくて良かったんです。CMやってる横のつながりがありましたから。例えば比留間（伸志）さんなんかは前からCMの仕事やってましたからヒルマ・モデルクラフトの操演などやらせてもらえました。当時は，TVの仕事で出入りしていた各映画会社のスタジオに顔がありましたから，特別な指定がないかぎり，そこに入ってくるCMの仕事は担当しました。

それで，CMの実績ができて，今では90％がCMです。残りは，催物と，時たま映画があります。そんな風に忙しくしててギブスは，今年でもう，8年目になります。

ギブス設立当初は，操演だけだったんですが，造り物の方も必要に迫られてやるようになりました。たぶんできるだろうという予想で始めるんです(笑)。作品の依頼があったときに，経験や自分の中にある知識で，組み立て可能ならやりました。

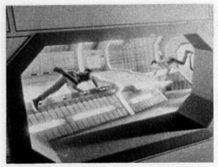
基本的な方法というのはあるので，組み合わせたり，こうした方が面白いとか……。やったことはないけど，あの方法をとればできるんじゃないか，でやってしまうわけです。

まあ，特撮の仕事は，今でも見切り発車みたいなところがありますね(笑)。(特撮って）思うように，なかなか進まない。未知数の部分があると，予めテストを繰り返して現場に臨むわけですけどね。

今でも，撮影の前日っていうのは生きた心地がしないですよ(笑)。精神的にも肉体的にも徹底的にやりますからね。テストを繰り返したり，徹夜で造り物作ったりしてますから……。それでも，計画どおり寸分の狂いもなくできるってことはないですねェ。特殊効果も，特殊撮影も時間がかかります。もし，計画どおりにいけば，9時に始めて，5時には帰れるんですから(笑)。

最近は，操演と造り物の比率が半分半分ぐらいになってます。造り物のパーセンテージが多くなってきたんです。吊り（操演）は基本的な技術ですが，それが減った分だけ，造り物が増えた勘定でしょうか。

昔は，合成した方がいいものまで，吊ってやってましたからね。吊れば，生だから画はいいですけど，操演の



◉日本リーバー ラーマ・サリーナ＝映画「2001年 宇宙の旅」を連想させる無重力シーン。商品や宇宙飛行士，野菜など100点余りを操演した。
企画制作社＝マッキャンエリクソン博報堂＋東宝映像 企画＋演出＝柴田孝一 Pr＝石河謙治 撮影＝西垣六郎 照明＝出竹秀雄

◉いすゞ810トラック＝山と積まれたスパンコールが風で吹き飛ばされると，中からトラックが出現。実物を精密に縮小したミニチュアトラックだが，実車と見まちがうほどの出来だ。
企画制作社＝電通＋東北新社 企画＝野村定弘・高橋俊明・西原知文・熱田俊治 Pr＝斉藤潔 演出＝熱田俊治 撮影＝三隅研二 照明＝星忠克 特殊美術＝高城忍・松下義文

我々にもう少し制作準備期間が与えられたら，コスト面でも得だし，リスクが圧倒的に減るんですけどね

動きには限界っていうものがあります。吊りじゃできない動きってあるわけです。そんなときは，合成の方がいいってことに気づいてきたんですよ，皆。ベストな方法を選ぶ。それこそ，ケース・バイ・ケースです。

画面の中で，ある被写体が大きくなるっていう場合，ズーム・アップしてもいいし，被写体が近づいてきてもいい。カメラが寄ってもいいんですから……。こんなことでも何通りもの方法があるんですから，複雑な要素を画面の中で実現しようとすれば，同じ画を作るのに，100通りも，200通りも方法があるわけです。

◉特撮にはいつも必ず、時間がない

特撮は，いつも見切り発車になるんですね。

これは一概には言えませんが，だいたいの特殊効果は充分な時間さえかければ，まず満足させる完全なものができるんです。ところが，企画会議が終わって，こういう映像が作りたいんだと相談があって，その時から，撮影日までの時間がとても少ないんです。

時間がない上に，尻がおさえられているでしょう。CM自体の作り方の構造的なものですが。皆，少しでも良くしようと思っているから，企画から撮影の前日までギリギリねばっちゃうんですよね。

企画が通った後は，すぐ撮りたいっていうのが代理店にあるんじゃないですか(笑)。ぐずぐずしてて，スポンサーの気が変わらないうちに撮っちゃう，撮っちゃえば勝ちだみたいなのが あるんじゃないですか(笑)。もう少し我々に与えられる時間があれば，準備期間ですが，これがもう少しあれば，絶対，皆にとって得なんですよね。ロスもなくなるし，より計画通りに進むようになるんですから。その方がコスト面でも得なんですよね。

一番極端な時は，電話がかかってきて，今（撮影現場で）困っているから，どうにかしてくれっていうのもありますから(笑)。すぐに来てくれと(笑)。これは例外ですけれども，企画から撮影日までの期間はある程度余裕を持って欲しいです。これは本当に。

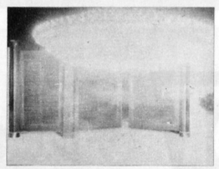
◉特撮の仕事は強烈な緊張の連続だ

今までで一番恐しかった思いをしたのは，トヨタのカムリを吊ったときですね。同時にレーザーエンジンを20台ぐらい吊ったんです。(スタジオの）上がもたないってさんざんおどかされましてね。カムリはエンジンや中身は入っていないんですが，実物より重くなっていたんです。と，いうのは，車を吊るピアノ線は2㎜とか，2.5㎜を使うんですが，カメラと車の間に線が入ると，その太さですから消せないんです。

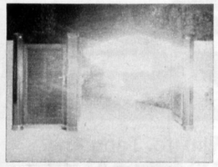
それで，バックに溶け込ますことのできる手前以外の3点で吊るでしょ。バランスを考えて，850kgのウエイトをのせなければならなくて実物より重くなるんです。

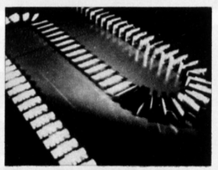
もちろん，事故もなく済みましたが，これは本当にこわかったですね。まあ，操演で事故が起きたことは一度もないですが……。

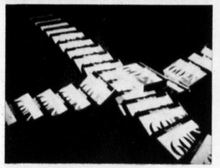
大変だったけど面白かった仕事は，テクニクスのドミノ倒しです。カセットテープが倒れていってTECHNICSの文字になるんですが，それまでに様々な仕掛けがありまして。例えば，火の輪を飛び越えたり，車が走ったり，旗が立ったり。ところがスタジオいっぱいに，3000個のカセットテープを並べたもので規模が大きいですから何度もテストすることができないでしょ(笑)。

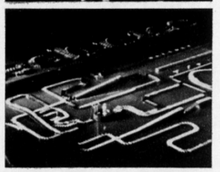


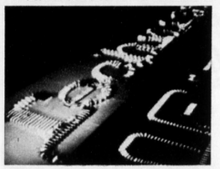
◉新日軽 門扉＝商品の門扉が開くと半径90cmのキラびやかなUFOが飛び込んでくる。都合なんと20kWのランプと仕掛けに苦労したミニUFOだった。
企画制作社＝中央宣興＋東宝映像 企画＝川西正和・島田弘久 演出＝島田弘久 撮影＝井上勝雄 照明＝増田恒次 特殊造型＝高城忍











◉松下電器 テクニクスカセットテープドミノ倒し＝特撮(特殊仕掛け）CMの歴史的名作。3000個のカセットテープがドミノ倒しをしていく様子を見事に促えた作品。
企画制作社＝松下電器宣伝事業部＋博報堂大阪＋キャップ 企画＝柴田麻三也・秋吉淳一郎・垂水佐飯 Pr＝鹿野研二・岩崎富士男・小川宏 演出＝岩本力 撮影＝三上琇正 照明＝萩原寿保 美術＝奥幸男 特殊技術＝高城忍

企画段階で僕らの意見が反映されるようになれば もっといいものが合理的にできると思います

◉僕らのギャラと意見の反映

CM作るのには当然，予算がありますよね。僕らのギャラは，演出＞撮影＞照明＞美術という通常の並びの中では，美術に準拠することになっています。昔から，基本的な値段を決めたいと思っているんですが，まだ安いと思うし，安定していませんね。

今は人件費で決められていて，人数×日数なんですがその人の値段というのも，仲々決められません。

まあ，難しいことですが，この仕事（スペシャル・エフェクト）の値段を全体に上げていかないと，業種内でも素質を持った，いい人が入ってこないですよ。

いい人間が，喜んで入ってこれるような世界にしたいですね。業種内の皆がまとまるってことでないと，その辺は解決していかないでしょうが，それは仲々難しいですからね。

それよりも僕らがもっともっと力をもって，少しでも前進して，どうしても僕らが必要だという評価を高めていく，良い実績を作っていくっていう方が現実的ですが。必要性が，値段を決めていくんでしょうから，もっと専門的に特徴を生かした仕事をしていかなければならないと思っています。

企画段階では，僕らの意見が大きく反映されていくようになればいいと思います。実際，その方が金がかからなくて，いいものができるなんてこともあると思うんです。合理的にできるということもあるでしょうし。

今，事務面や制作を含めて，それに常時いるアルバイトを加えて，スタッフは12人います。僕もそうだったわけですが，はじめは皆，白紙のところから始まるわけで，一つ一つ習っていって一人前になっていくギルドみたいなところがあるんです。これからスタッフも充実していって，より良い実績を上げていけば，僕らの必要性も増し，意見の反映もできるようになる。作品の高質化のためにも僕らが認められなくてはいけないでしょうね。

P.106とP.107の作品スタッフ

①企画制作社＝アダルト 企画＝今野陽次・西山貴也・羽太千恵 Pr＝中村芳昭 演出＝西山貴也 撮影＝岡崎欽次 照明＝沢田誠作
②企画制作社＝読売広告社＋Sab 企画＝中山喜芳・阪田栄一 Pr＝佐久間崇 演出＝阪田栄一 撮影＝渡辺謙治 照明＝佐野武治
③企画制作社＝第一企画＋東京コマーシャルフィルム 企画＝川添宗輔・村井俊文 Pr＝畠中好信 演出＝北川みつを 撮影＝亀田南雄雄 照明＝富田邦次
④企画制作社＝電通＋葵プロモーション 企画＝三浦武彦 Pr＝町井光雄 演出＝結城臣雄 撮影＝石川三明 照明＝小熊良平 美術＝奥幸男
⑤企画制作社＝電通＋葵プロモーション 企画＝三浦武彦・鎌田一郎 Pr＝三浦武彦・沼田秀次 演出＝結城臣雄 撮影＝小泉一宏 照明＝村瀬栄一 美術＝長沢佑好 視覚効果＝テンフィルム・エフェクト
⑥企画制作社＝電通＋葵プロモーション 企画＝安西俊夫 Pr＝沼田秀次・宇井実 演出＝山本泰彦 撮影＝小西淵彦・三竹弘幸・伊藤保 照明＝石井大和・藤枝義雄 美術＝深山隆行・東宝美術
⑦企画制作社＝大阪大広＋オーズマン 企画＝内島至・新谷哲雄・内田建太郎 Pr＝鹿島研二・小野達也・猪狩達・臼井晴雄 撮影＝福井将人 照明＝太田耕治
⑧企画制作社＝大阪電通＋内田建太郎事務所 企画＝田村三勇 演出＝内田建太郎 撮影＝福井将人 照明＝太田耕治 美術＝竹中和雄
⑨企画制作社＝K&L＋タウラスフィルム
⑩企画制作社＝博報堂大阪＋オーズマン 企画＝内島至・橋本哲夫・深尾慎二 Pr＝鹿島研二・岩崎富士男・猪狩達 演出＝内田建太郎 撮影＝福井将人 照明＝太田耕治 美術＝竹中和雄
⑪企画制作社＝博報堂＋東映CM 企画＋演出＝岡村光一郎 撮影＝宮坂健二 照明＝佐藤文造
⑫企画制作社＝第一企画＋田中プロモーション 企画＋演出＝細井威良 Pr＝小嶋不可止 撮影＝井上勝雄 照明＝増田恒次 アニメ＝及川功一
⑬企画制作社＝シマクリエイティブハウス＋トッシュプロダクションズ Pr＝白石清・高沢公明 演出＝阿部孝志 撮影＝兼松き太郎・間宮庸介
⑭企画制作社＝大広＋国際クリエイティブ 企画＝半田博久 Pr＝池谷昌幸 演出＝神谷英夫 撮影＝山中重武 照明＝増田恒次